

# 調査を実施

## 総務厚生常任委員会

7月3日、町内3か所の事務調査を実施し、各事業の状況等について調査を実施いたしました。

○介護基盤緊急整備等特別対策事業で新設された認知症高齢者グループホーム

○安心こども基金保育所等緊急整備事業・南光保育園移転新築

○防災行政無線システム整備工事・操作卓システム等

認知症高齢者グループホームは、永吉に新設され、施設の名称は「グループホームすまいる」であり、設置及び経営の主体は「医療法人・坂元内科クリニック」である。施設の概要や入所状況等について、施設管理者の説明を受けた。建物施設面積は354.46㎡、木造平屋建てで、設備総額が5,743万5千円である。

施設の完成は、25年3月20日で、事業開始は、5月8日との

ことであった。

入所定員は9人で、入所用件は65歳以上で町内に住所を有し、認知症と診断され、要介護度1以上の認定を受け、共同生活が可能であることが入所要件とのことであった。



施設担当者及び保健福祉課の説明

施設の名称は「南光保育園」であり、管理及び運営の主体は「社会福祉法人南光福祉会」である。施設の概要や保育状況等について、理事長の説明を受けた。建物面積は、764.07㎡で、木造平屋建てで、施設整備費は、太陽光発電システムを含め、1億7千682万1千6百円である。

施設の完成は、25年3月26日である。

これまでの保育園の隣接地に移転新築し、入所定数を70名から90名に増員するものであり、調査時点での入所者数は98名で、充足率は109%となっており、調査時点における町内での待機児童はいないとのことであった。



移転新築された南光保育園

防災行政無線システム整備工事・操作卓システム等については、役場総務課長及び担当者から、概要等について説明を受けた。工事の概要は、操作卓一式、発動機1基、遠隔装置、屋外拡声子局1本、再送信子局3局、

拡声子局66局で、請負契約額は2億205万1千5百円で、請負業者は、沖電気工業(株)九州支社である。

新しく整備した防災行政無線子局の支柱の耐用年数の質問に対し、20年を計画しているとのことであった。また、全国瞬時警報システム(Jアラート)との連携についての質問に対し、Jアラートで警報が出された場合は、自動的に防災行政無線を通じて町内一円に通報されるシステムであるとのことであった。



役場無線室にて工事概要の調査